※令和４年度以降入学生用

学校番号	405

令和８年度　地歴公民科

教科	地理歴史科	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「日本史探究」（東京書籍）						
副教材等	「歴史資料館　日本史のライブラリー」（とうほう） 「要点マスター　日本史探究　整理と演習」（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会が成り立つまでの歴史的経緯を知る。
・歴史上の様々な事象に「なぜ」の視点を持つ。
・歴史・地理を踏まえ、現代の社会的課題を考える。

2　学習の到達目標

a. 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
b. 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
c. よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解している。 ○諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かる効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	○我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、次期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察し、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想している。 ○考察、構想したことを効果的に説明し、それらを基に議論している。	○我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、見通しを持って学習に取り組もうとしている。 ○よりよい社会の実現を視野に、自身との関わりをふまえて学習を振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめる。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価する。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知 (a)	思 (b)	主 (c)
1学期	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第１章　先史社会の生活と文化 １　旧石器時代の日本 ２　縄文文化 ３　弥生文化と小国家の形成 第２章　歴史資料と先史・古代の展望 １　先史・古代の歴史を組み立てる資料の特質 ２　東アジアとの交流のなかでうかびあがる歴史 ３　木簡が語る律令国家の実態	a:先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、先史・古代の日本と東アジアに関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 b:先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目し、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 c:先史・古代の日本と東アジアの展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。	定期考査・ワークシート	定期考査・ワークシート	ワークシート
2学期	第1編　先史・古代の日本と東アジア	第３章　古代社会の形成と展開 １節　律令国家の形成と古代文化の展開 １　大和王権と古墳文化 ２　飛鳥の朝廷と文化 ３　律令国家の形成と白鳳文化 ４　平城京と天平文化 ２節　摂関政治と貴族文化 １　平安遷都と唐風文化 ２　貴族社会と摂関政治 ３　国風文化	a:国家の形成と古墳文化、律令体制の成立過程と諸文化の形成などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、先史から古代の政治・社会や文化の特色を理解している。 b:中国大陸や朝鮮半島との関係、隋・唐など中国王朝との関係と政治や文化への影響などに着目して、主題を設定し、小国の形成と連合、古代の国家の形成の過程について、事象の意味や意義、関係性などを多面的・多角的に考察し、歴史に関わる諸事象の解釈や歴史の画期などを根拠を示して表現している。 c:第１編「先史・古代の日本と東アジア」における学習の経緯について、自身との関わりをふまえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	定期考査・ワークシート	定期考査・ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

2学期	第2編　中世の日本と世界	第１章　中世社会の成立 １　朝廷政治の変容 ２　武士の政治進出 第２章　歴史資料と中世の展望 １　武家権力による日本社会の変容 ２　厳しい自然環境での人々の生存戦略 ３　中世日本の国際交流	a:中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 b:中世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 c:中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 第 2 編「中世の日本と世界」における学習の経緯について、自身との関わりをふまえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	定期考査・ワークシート	定期考査・ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

3学期	第2編　中世の日本と世界	第３章　中世社会の展開 １節　武家政権の成立と朝廷 1　鎌倉幕府の誕生 2　執権による政治 3　モンゴル襲来と社会の変貌 4　鎌倉の仏教と文化 ２節　武家支配の広がりと国際交流 1　南北朝の動乱と室町幕府の成立 2　倭寇と東アジア国際交流 3　室町時代の社会と経済活動 4　自立する戦国大名 5　室町文化	a:中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から、中世の日本と世界に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 b:中世の日本と世界の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察する力や、考察したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 c:中世の日本と世界の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究しようとする態度を養う。 第 2 編「中世の日本と世界」における学習の経緯について、自身との関わりをふまえて振り返るとともに、次の学習へのつながりを見いだそうとしている。	定期考査・ワークシート	定期考査・ワークシート	ワークシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度